

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. ー 6 : ^{くりはらし}宮城県栗原市 (人口 : 76,625人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線 : くりこま高原駅下車 徒歩0分 (東京から約2時間30分)
高速バス : 東日本急行 高速バス「仙台、栗原市金成庁舎前線」くりこま高原駅下車徒歩0分
(仙台から約1時間20分)

(2) 事業実施の目的等

栗原市では、地域資源を活用した「くりはら田園観光都市」の創造に取り組んでいます。本事業では、学生の皆さんと一緒に地域の資源を探したり、体験したりしながら、地域の人々の暮らしを体感する「くりはらツーリズム」のスガタを研究します。
さらに、グリーン・ツーリズムを始め、ツーリズムに関心の高い市民が学生を受け入れることで、経験や知識を学べる機会とします。

(3) 体験の内容

季節に応じて、農業や林業などの作業や地域の暮らしの行事を体験します。また、地域資源を地元スタッフと一緒に調査します。その他、季節に応じてメニューを設定します。
例 : 農作業体験…田んぼ、畑、果樹園等で作業体験 林業体験…森林や竹林等での作業体験
地方の暮らし体験…地方に伝わる家庭の行事体験 その他…資源調査、直売所のお手伝い等

(4) 受入主体

- ・くりはら研究所 (栗原市産業経済部田園観光課)
- ・くりはらツーリズムネットワーク

(5) 受入期間

- ① 8月中旬 3泊4日
- ② 9月中旬 3泊4日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 参加者 宿泊費 : 受入主体 食事代 : 受入主体・一部自己負担
①要件	・大学生、大学院生 (都市、地方は問いません) ・地方、田舎に関心のある人
②応募締切り	・各回1カ月前 ※各回4~8人程度を予定
③宿泊施設	・民泊 ・宿泊施設
④食事形態	・受入先で提供 ※昼食は一部自己負担あり
⑤その他	・旅行保険料は自己負担

(7) 地域担当者から一言

栗原市は、面積800平方キロメートルの約8割が森林、原野、田畑で占められていて、自然が豊かで、田園風景が広がる場所です。広い栗原で、地方の暮らしや農作業を体験しながら、市民との交流を楽しみましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名	栗原市	担当部署	くりはら研究所 (産業経済部田園観光課観光企画係)
(ふりがな)	おおば ひさき	TEL :	0228-22-1151 (直通)
担当者氏名	大場 寿樹	FAX :	0228-23-5370
E-mail : kanko@kuriharacity.jp			
URL : http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html			
応募宛先	〒989-5612	宮城県栗原市志波姫新熊谷284番地3 (くりこま高原駅内)	